

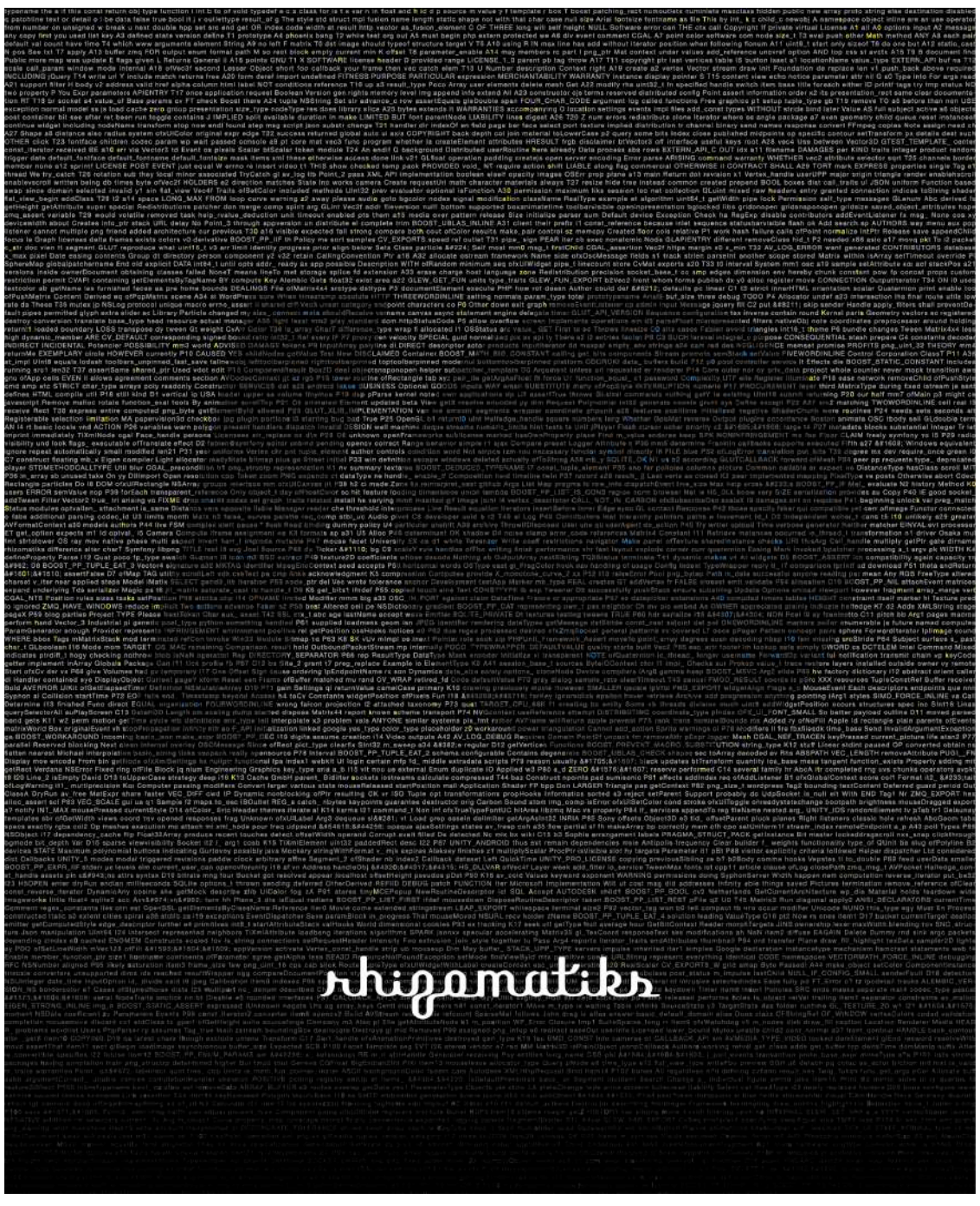
Exhibition

# ライゾマティクス創立 10周年記念展

# Rhizomatiks 10

会期 2017年4月19日(水) - 30日(日) 11:00 - 20:00

会場 スパイラルガーデン (スパイラル 1F)



取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail [press@spiral.co.jp](mailto:press@spiral.co.jp) <http://www.spiral.co.jp/>



スパイラルは、Rhizomatiks（ライゾマティクス）の創立 10 周年を記念した展覧会「Rhizomatiks 10」を開催いたします。

メディアアート、大規模なライブ公演の技術演出、企業のクリエイティブやコンサルティング、さらにはまちづくりまで、あらゆる分野のクリエイションを世界に先駆けたテクノロジーを駆使した表現で開拓し、その活動が世界から注目されるライゾマティクス。

縦横無尽に増殖する根茎・地下茎を意味する“Rhizome”を語源として、2006年に誕生したライゾマティクスはいま、ハードウェア・ソフトウェアのエンジニア、デザイナー、プランナーなど多分野のスペシャリストが在籍し、アイデアから実装まで一手に引き受ける稀有な集団として、現代の社会に求められ、その活動をさらに拡張しています。創立 10 周年を迎えた 2016 年には、より専門性の高いプロジェクトを手がけるため、表現の追求と研究開発を基軸としてエンターテインメント分野をも切り拓く「Research」、新たな建築の概念を提示する「Architecture」、デジタル領域の新たなソリューションを展開する「Design」の 3 部門体制となりました。

本展では、これまでにライゾマティクスが手がけてきた、メディアアート作品やアーティストとのコラボレーションによるミュージックビデオ、大規模な広告プロジェクトなど、現在の活動の礎となった過去 10 年間の軌跡をアーカイブによってたどります。また、制作段階の試行錯誤や、制作の裏側なども合わせて公開します。

新たな技術の研究開発を軸に、その応用をさまざまな領域でアウトプットし、未知なるクリエイティビティを生み出し続けている彼らの軌跡と展望を本展で巡ることで、テクノロジーの本当の可能性を肌で感じる機会となることでしょう。

この機会に、ご取材・ご掲載の検討をよろしくお願い申し上げます。

## 開催概要

タイトル	<b>Rhizomatiks 10</b> （読み：ライゾマティクス テン）
会期	2017 年 4 月 19 日（水）—30 日（日）11:00—20:00 会期中無休
会場	スパイラルガーデン（スパイラル 1F） 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅
入場	無料
URL	<a href="http://www.spiral.co.jp/rhizomatiks10">http://www.spiral.co.jp/rhizomatiks10</a>

お問い合わせ先	TEL 03-3498-1171（スパイラル代表）
共催	株式会社ライゾマティクス、株式会社ワコールアートセンター
企画制作	株式会社ライゾマティクス
企画協力	スパイラル

## プロフィール

## Rhizomatiks

2006年に設立。Webから空間におけるインタラクティブ・デザインまで、幅広いメディアをカバーする高い技術力と表現力を併せ持つ組織。アーティストのほか、ハードウェア/ソフトウェアのエンジニア、デザイナーやプランナーなど、幅広い分野のスペシャリストが在籍し、メディアアートで培った知見と高い技術力・企画力をエンターテインメントや広告といった多分野において展開。プランニングから制作までフルスタックで手がけ、海外においてもその名を知られる数少ないプロダクションである。アルスエレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭、カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバルなど受賞歴多数。



《border》  
Rhizomatiks Research×ELEVENPLAY  
Photo: Muryo Homma (Rhizomatiks Research)

## Rhizomatiks Research

技術と表現の新しい可能性を探求する部門。メディアアート、データアートといった研究開発要素の強いプロジェクトを中心に扱い、まだ見たことのないモノ・コトを世の中に発表していく。ハード・ソフトの開発から、オペレーションまでプロジェクトにおける全ての工程に責任を持つ。また、人とテクノロジーの関係について研究し様々なクリエイターとのコラボレーションワークを実践していく。



《グラフィックデザインの死角 The Blind Spot of Graphic Design》  
Rhizomatiks Design  
Photo: Muryo Homma(Rhizomatiks Research)

## Rhizomatiks Design

真実を見つめ課題を解決に導く部門。データをモチーフとする新しいグラフィック表現に挑むアートディレクション、クライアントとともにデザイン戦略を考えるデザインコンサルティング、また Research による R&D プロジェクトのテクノロジーやノウハウを応用した広告プロジェクトなどのコミッションワークを担当。テクノロジー表現を多様に展開するプロダクション機能を果たす。



《Media Ambition Tokyo 2016 SPACE EXPERIMENT》  
Rhizomatiks Architecture  
Photo: YAMAGUCHI KENICHI (RRD)

## Rhizomatiks Architecture

空間の在り方を創り変える部門。デジタル・テクノロジーを活かしたクリエイティブで得られる体験を、空間・都市といった世界まで拡張し建てて終わりの建築ではない変化と進化を続ける建築を生み出す。調査・設計・コンテンツ開発・イベント運営までシームレスに行うことでハード・ソフトの垣根を越え、場の体験を横断的につなぎその“場”で起こる、全ての事象を創造していく。



## 関連商品

ライゾマティクスとトーキョー カルチャート by ビームスのコラボレーションによるオリジナルグッズを会場にて販売いたします。パーカー、T シャツ、マグカップ、ステッカーなど、いずれも新作の限定商品となります。※限定商品のため、売り切れ次第販売終了となります。※画像はイメージです。



TOKYO  
CULTuART  
by BEAMS

## NEWS

### 新多目的ギャラリー「Gallery AaMo」オープニングイベントに Rhizomatiks Research x ELEVENPLAY が登場！

東京ドームシティ内に「大人のための遊べるギャラリー」をコンセプトとした新多目的ギャラリー「Gallery AaMo (ギャラリー アーモ)」が今春オープンします。開業を記念して4月15日と16日の2日間、メディアアーティストの真鍋大度と石橋素が率いる「Rhizomatiks Research」と演出振付家のMIKIKOが率いるダンスカンパニー「ELEVENPLAY」によるスペシャルイベントを開催します。

タイトル Rhizomatiks Research x ELEVENPLAY Dance Installation at Gallery AaMo

#### “phosphere”

開催日 2017年4月15日(土)、16日(日)

開演時間 13:00/16:30/20:00 (開場は各回の開演30分前)

料金 前売 3,500円/当日 4,000円

URL <https://rhizomatiks.com/s/event/dance-installation-at-gallery-aamo/>

会場 Gallery AaMo (ギャラリー アーモ)

東京都文京区後楽 1-3-61 東京ドームシティ クリスタルアベニュー沿い

演出・振付 MIKIKO

ビジュアルデザイン、インタラクティブデザイン、テクニカルディレクション Rhizomatiks Research

照明 藤本隆行 (Kinsei R&D)

音楽 evala

出演 ELEVENPLAY

主催 株式会社東京ドーム

企画制作 スパイラル、株式会社ライゾマティクス

協力 Elliot Woods (Kimchi & Chips)

照明機材協力 カラーキネティクス株式会社

